

伊豆の国市大仁地区は、選手時代に自主トレを行った思い出深い場所です。大仁温泉のホテルに宿泊し、富士山を見ながらランニングで足腰を鍛え、シーズンに備えました。地元のみなさんの厚意により、道路に長嶋茂雄の名前をつけて頂き、光栄です。お世話になった伊豆の国の活性化に少しでも貢献できればと思います。

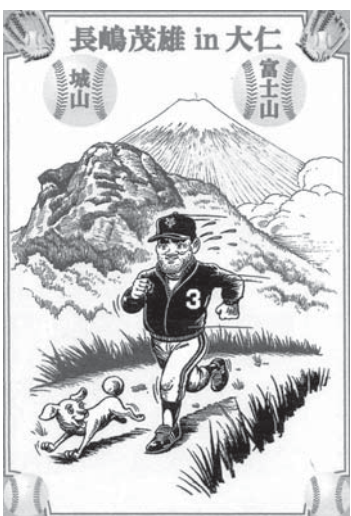
長嶋 茂雄

## 富士山がきれいだったから

### ■伝説の「大仁山ごもり」

戦後、最大の娯楽であったプロ野球。そのなかで、ひときわ輝きを放っていた長嶋氏が、この地を自主トレニンググラ場として選んだのは昭和42年。以降、7年間にわたり、正月から球団キャンプ開始前までの自主トレニングを、この地で行なっていました。このことは、大スター長嶋氏を報道するマスコミにより「長嶋茂雄大仁山ごもり」として、一躍、「大仁」の地名は全国に知れ渡りました。

「プロは命がけで練習」の信念を持つ長嶋氏。城山への登頂や滞在先ホテルの離れでの練習、そして伊豆の温暖な気候は、当時の長嶋氏にとって最適の練習環境だったようです。



大仁区で制作したイメージイラスト



自主トレーニングの拠点として宿泊していた大仁ホテル「富士の間」内で打撃練習に励む長嶋氏



子どもを抱きかかえ、気軽に撮影に応じる長嶋氏

なにより、大仁の地を選んだ最大の決め手は、長嶋氏の大好きな「富士山」がきれいだったからといえます。

### ■気さくで温かい人柄

大仁に滞在していた間、長嶋氏本人と直接触れ合った地元の人たちは少なくありません。何度もこの地を訪れ、細い道などを熟知していた長嶋氏は、マスコミの目を盗み、何度もまちへ出かけたそうです。とりわけ、旧大仁高校へはよく足を運び、高校生と一緒にさまざまな部活動に参加していたそうです。ファンから求められたサインや写真撮影にも笑顔で気軽に応じ、地元からの人気も絶大なものでした。

特集

読売巨人軍

# 長嶋茂雄ロード誕生

市役所都市計画課 ☎ 055-948-2909

ここ伊豆の国市に、新たな名所「読売巨人軍 長嶋茂雄ロード」が誕生しました。

日本野球界の至宝である長嶋茂雄読売巨人軍終身名誉監督（以下「長嶋氏」という。）は、現役時代の昭和42年から48年までの間、伊豆の国市（旧大仁町）を拠点として自主トレーニングを行っていました。

市では、長嶋氏と本市の関係を後世に伝えるとともに、長嶋氏のスポーツマンシップを本市における人づくりと地域づくりに生かすことで、市のさらなる発展を目的に、長嶋氏がトレーニングをしていた道などに「読売巨人軍 長嶋茂雄ロード」と命名しました。

### 永遠の背番号3 ミスタープロ野球



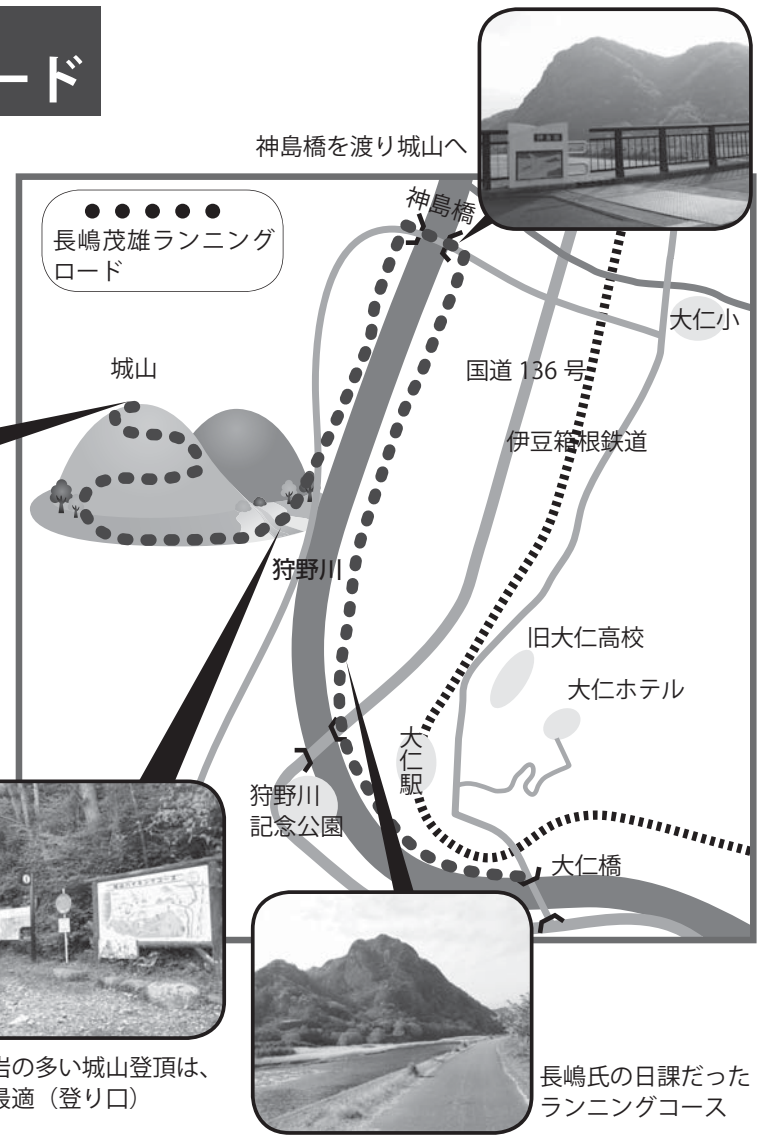
長嶋茂雄氏は、昭和11

年生まれ、千葉県印旛郡白井町（現在の佐倉市）出身の元プロ野球選手・プロ野球監督です。昭和33年にプロ野球読売巨人軍に入団。以降、主に4番サードとして活躍され、引退する昭和49年までに、巨人軍V9戦士の主力として、また個人成績でもMVP5回、本塁打王2回、首位打者6回など数々の輝かしい成績を残されました。巨人軍では長嶋氏の功績を称え、引退後は彼の背番号である3を永久欠番に、また、長嶋氏は監督引退後も、巨人軍終身名誉監督として活躍されています。さらに、平成25年には、広く国民に敬愛され、社会に明るい希望を与えることに顕著な業績があったとして、国民栄誉賞を受賞されています。

読売巨人軍  
**長嶋茂雄ランニングロード**

起終点  
▶大仁橋 ~ 城山山頂

大岩山を有する長嶋氏お気に入りの城山。トレーニングのための登頂や狩野川堤防でのランニングで利用した道。



長嶋氏も眺めたであろう城山山頂からの眺め



久保博 読売巨人軍社長から許諾書を受ける小野市長 (株)読売巨人軍本社にて



ゴツゴツした岩の多い城山登頂は、瞬発力強化に最適 (登り口)



長嶋氏の日課だったランニングコース

**戦** 後の貧しい日本をわずか数年で世界有数の経済大国へ導いたのは、言うまでもなく昭和時代の企業戦士の皆さまであり、その彼らの心の支えとして存在したのが、戦後最大のスターである読売巨人軍の長嶋茂雄選手であったと思っております。

その長嶋選手は、現役時代、本市の大仁で自主トレをされ、当時多くのファンが訪れてくださいました。そのファン層も、今では70代となり、当時の長嶋選手の大仁での自主トレを懐かしみ、子や孫世代と再び当地を訪れる方も少なくありません。



そんな多くの国民の皆さまに愛された長嶋選手に感謝と敬意を顕したく、市では記念シンボルロードの制定を決定させていただきました。

これには、(株)読売巨人軍をはじめ、多くの方々のご理解ご協力があったこととであり、心より感謝申し上げます。

我が伊豆の国市は、長嶋氏と共に、飛躍してまいります。

**今後の計画 (予定)**

- 看板などの整備  
道路の起点・中間点・終点にあたる位置に道路愛称を記した看板を設置。また、長嶋氏の足跡のわかる記念碑を整備。  
実施時期／平成 27 年度中
- 完成記念セレモニー  
整備工事完了後、完成記念セレモニーを実施。  
実施時期／平成 28 年 1 月末頃

Interview **かつてのにぎわいを取り戻したい**

**地** 元の住民団体の企画が上がったのは平成19年のこと。このたびは、地元の念願がない、本当にうれしく思います。

長嶋さんは私たちが世代にとつての大スター。優れたスポーツ選手としてだけでなく、その人柄もあり、多くの人を今なお魅了し続けています。

華やかなイメージばかりが目される長嶋さんですが、この地でのトレーニングはとて過酷なものだったと聞きます。栄光の陰に努力あり。「努力の人、長嶋茂雄」の足跡を後世に語り継ぐことは、この地に住む私たちの重要な役割ではないでしょうか。

当時、長嶋さんの自主トレの様子が盛んに報道されたおかげで、大仁が「山ごもり」の



地として全国的に有名になりました。長嶋さんを慕う多くのファンたちがこの地を訪れ、まちはにぎわいに溢れていました。しかし、今は商店街もシャッターを閉じている店舗が目立ち、人通りもまばらです。

今回、市の※道路愛称選定事業により長嶋ロードが正式に誕生しました。これを機に、かつてのにぎわいを取り戻せるよう、私たち地元も知恵を絞っていききたいと思います。

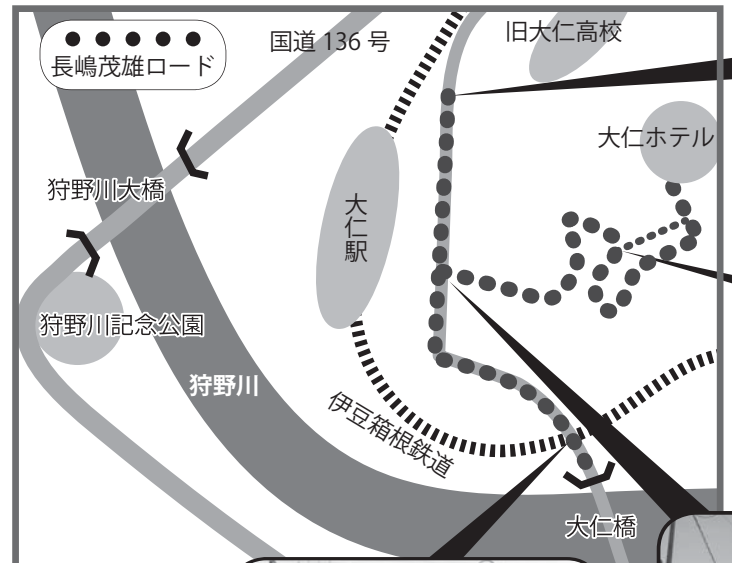
ぜひ、この地で読売巨人軍などからの協力を得て「第2回長嶋茂雄少年野球教室」を開催し、スポーツの普及ができるようになっていけたらと夢を抱いています。

読売巨人軍  
**長嶋茂雄ロード**

起終点  
▶大仁ホテル入口交差点 ~ 大仁ホテル前交差点  
▶旧静岡銀行交差点 ~ 大仁橋

長嶋氏が現役時代に自主トレーニングの拠点として滞っていた大仁ホテル周辺の道路や地元の商店街。

※道路愛称選定事業  
市は、市民や訪れた人にわかりやすく、親しみが持てる道路とするため、特色ある道路の愛称を募集。応募の中から11路線に愛称を名づけることに決定しました。「長嶋ロード」以外の愛称は、現在、道路愛称委員会で検討中です。



多くの長嶋ファンが訪れた大仁商店街



長嶋氏がダッシュを繰り返していたとされる坂



踏切から大仁橋を望む



商店街から大仁ホテルに向かう交差点